

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

八幡浜市長 大城一郎

市町村名 (市町村コード)	八幡浜市 (38204)
地域名 (地域内農業集落名)	千丈 (南裏、古藪、川之内、田浪、上郷、梨尾、横畑、末広、稲ヶ市、松尾、松柏、山越)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月20日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・高齢化がかなり進んでおり農地の維持管理ができていない農家が多い。
・後継者の目処がたっていない農家が多い。
・急傾斜地が多く、一農地あたりの面積が小さい。日当たりのいいところは急傾斜、なだらかなところは北側に面しており耕作に適していない農地が多く、集約が難しい。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・ブランド力の維持向上のため、特に優良園地の荒廃を地域ぐるみで防止する。
・地区外からの耕作者を積極的に招き入れ農地を維持する。(松柏)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	291.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	291.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地中間管理機構を活用して、認定農業者や認定新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業のほか、機構が実施する担い手の確保・育成のための研修制度を積極的に活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズを踏まえ条件のよい農用地を集約し、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用して基盤整備を行い中心となる経営体に担ってもらう。 ・園内道を整備し作業効率の向上を図りたい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・産地の維持、ブランド力のさらなる向上のため、地域ぐるみで、担い手の確保・育成、農産品の高品質化、高付加価値化等に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
・機械化組合を組織しオペレーターを育成する。 ・ドローンを活用した防除。 ・ユンボ(油圧ショベル)を活用した整地。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。